

Asia-Oceania Mass Spectrometry Conference (AOMSC) 参加報告

共通機器部門 共通利用機器管理班 山口信雄

1. はじめに（目的等）

Asia-Oceania Mass Spectrometry Conference (AOMSC)は、日本質量分析学会が参画する国際学会であり、20 か国以上から 700 名以上が参加して質量分析に関わる 450 以上の発表と 35 のセッションが行われた。今回は日本質量分析学会から質量分析技術者研究会に Tea time session において研究会の紹介を英語で行うよう求められ、それに応じて発表を行うこととなった。

2. 期間・場所

期間 : 令和 7 年 6 月 22～25 日

場所 : ANA InterContinental 石垣リゾート（沖縄県石垣市）

3. 参加者等

約 700 名程度

4. 研修内容

<https://aomsc2025.org/scientific-program/>

5. まとめと感想

今回の学会発表は従来の個人での発表ではなく質量分析技術者研究会としてのものになり、半年前から準備を始めた。発表は 30 分の Tea time session 枠において質量分析技術者研究会のことを発表するものであるが、前半に会の活動紹介を口頭（英語）で行い、後半に関係ポスターと研究会に関する動画を展示して質疑応答することとなった。さらに研究会会長の意向に沿って各大学の質量分析室の紹介や技術職員ネットワークの紹介を行うこととなった。

準備において研究会ポスター（日本語版、英語版）レイアウトとりまとめ、研究会紹介動画の英語版再編集、一部ポスターの作成・手配を担当し、20 名近い編集者の意見を取りまとめて英語版が仕上がったのは移動前日となった。

現地では親交のある方々のポスターを中心に回り、それ以外についても興味深いトピックについてディスカッションを行った。幸い日本人が多いためある程度日本語で意思疎通ができて大変助かった。ただし口頭発表は全て英語のため、早口の説明でスクリーンの文字が小さい場合には理解に苦しむ場面もあった。

Tea time session は大会 3 日目に行われ、口頭発表では 1/4 程度を担当した。内容としては研究会例会でどのようなことを実技研修・討論しているかを説明し、さらにローカル及び全国技術職員ネットワークの例として中国地方ファシリティネットワーク、TC カレッジを紹介した。その後会場スクリーンに流す動画が機材トラブルで 5 分以上投影できず、復旧後に担当ポスターの前で対応した。ポスターではかなり短い時間だったが可能な限り質疑応答を行った。